

「建設現場トイレ勉強会」開催のご案内

仮設トイレは、建設現場を中心に花火大会やマラソン大会などのイベント、また災害時には避難所のトイレとして機能することが期待されています。しかし、これまでの仮設トイレは、くさい、狭い、暑い、イメージが悪いなどの課題も抱えていました。そんな中、建設現場における環境改善の象徴として、仮設トイレが変わりつつあります。本勉強会では、仮設トイレの改善に向けた課題について意見交換したいと考えております。ぜひご参加くださいますよう、ご案内いたします。

- 日 時：2015年11月10日（火） 14：30～16：30
- 会 場：ForumS+西新橋（〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11 7東洋海事ビル1F）
- 主 催：NPO法人日本トイレ研究所 TEL：03-6809-1308
- 定 員：50名 ※先着順
- 参加費：5,000円（ただし、日本トイレ研究所法人会員は2,000円） ※資料代含む
- 申込方法：①氏名 ②所属先名 ③メールアドレス ④電話番号 ⑤交流会参加の有無 をご記入の上、labostudy@toilet.or.jp 宛（件名に「1110建設現場トイレ勉強会申込」と記載）にメールでお申し込みください。（人数に限りがありますので、お申し込み後のキャンセルは必ずご連絡下さい）
- プログラム：
 - 14：10 <<受付開始>>
 - 14：30 開会と趣旨説明
NPO法人日本トイレ研究所
 - 14：40 **【国の施策】建設現場における仮設トイレ改善に向けて**
榎谷 有吾 氏（国土交通省大臣官房技術調査課 事業評価・保全企画官）

国土交通省は建設業団体と連携して「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」を策定し、女性も含めて誰もが働きやすい現場環境の整備に向けた取組を進めています。その一環として「建設現場における仮設トイレの事例集」を作成しました。さらに、全国の直轄事業を対象に具体的なトイレ改善を実践しています。ここでは、建設現場におけるトイレ環境の改善に向けたこれまでの取組みと今後の施策についてお話しいたします。
 - 15：30 **【団体の取組み】「もっと女性が活躍できる建設業行動計画とトイレ改善事例」**
一般社団法人日本建設業連合会（調整中）

技術系女性社員の比率を5年間で倍増することを目指し、建設業行動計画の作成、現場見学会の開催、『「けんせつ小町」が働きやすい現場環境整備マニュアル』を作成するなど、実践的に試みを行っています。ここでは、行動計画の一つである「トイレや更衣室の設置など、女性も働きやすい現場をハード面で整備」の内容や現場でのトイレ・洗面スペースの改善事例やニーズ等についてお話しいたします。
※けんせつ小町：建設業で活躍する女性技術者・技能者の愛称
 - 15：55 <<休憩>>
 - 16：00 **【質疑および意見交換】「仮設トイレの質的向上と災害時トイレ等の改善の波及に向けて」**

快適な現場環境の実現に向けた「どこでもトイレプロジェクト（仮称）」の目指す方向性や、建設現場のトイレを改善することで、その成果を災害時や公衆トイレ改善にどのように波及させるかなどについて意見交換をしたいと思えます。
 - 16：30 閉会
 - 16：45 有志による交流会（4,000円程度）

※本プログラムの内容は、一部変更する場合がございます。

<アクセス>

■会場：ForumS+ 西新橋（〒105-0003 東京都港区西新橋 2-8-11 7 東洋海事ビル 1F）

■交通：三田線「内幸町」駅 徒歩5分

JR「新橋」駅 徒歩7分

